

研究名「黄斑疾患に対する抗血管内皮増殖因子抑制薬の治療効果と視機能予後
に關与する因子の検討」

黄斑疾患、特に、加齢黄斑変性 (age-related macular degeneration: AMD)、糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症、近視性脈絡膜新生血管は視力に直結する黄斑部に出血や浮腫といった滲出性変化を来し、高度な視力低下を引き起こす疾患です。近年、これらの疾患は抗血管内皮増殖因子 (VEGF) 薬の硝子体注射が適応となり現在では標準治療となっておりますが、抗血管内皮増殖因子 (VEGF) 薬に対する治療効果に個人差があることが問題となっております。本研究では、AMD、網膜静脈閉塞症、糖尿病黄斑浮腫、近視性脈絡膜新生血管に対する抗 VEGF 薬の治療効果を評価し、治療反応や視機能予後に關与する因子を同定することを目的としております。

本研究の方法としましては、2010 年 1 月以降に当院を受診した黄斑疾患 (AMD、網膜静脈閉塞症、糖尿病黄斑浮腫、近視性脈絡膜新生血管) の患者を対象として、診療録から個人を特定できない形で、年齢、性別などの基本情報と、血圧、採血、合併症などの全身情報、視力、眼圧、眼底写真、視野、光干渉断層計による網膜厚や蛍光眼底造影などの眼科的情報を抽出します。抗 VEGF 薬による治療開始から 96 ヶ月までの視機能 (視力、網膜厚) を評価し統計学的手法によって治療効果を検討します。また、その治療効果が、抗 VEGF 薬の種類やそれぞれの黄斑疾患の病型によって異なるかも検討いたします。網膜静脈閉塞症と糖尿病黄斑浮腫では網膜光凝固術施行群や無治療群との比較も行います。治療レジメンの違いによる視機能予後やそれに関連する因子を検討いたします。

本研究により、抗 VEGF 薬の種類や黄斑疾患の病型と治療反応・視機能予後の関連がわかれば、個々の患者様にあった個別化医療を提供できる可能性があります。診療情報の使用を希望されない方や、ご不明な点がございましたら遠慮なく眼科医師にご連絡ください。

(問い合わせの窓口)

東北労災病院

所在地：981-8563 宮城県仙台市青葉区台原 4 丁目 3-2 1

電話：022-275-1111

担当者氏名：植松 恵